

市町村名		名護市					
令和3年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②		やがじ地域観光拠点整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)-カ	
	地域経済部 屋我地支所		事業実施（予定）年度	平成28年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	産業間連携の強化	
担当部署名						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	修学旅行等の誘致を図るため、やがじ地域の観光地周辺及び観光体験施設の整備を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R6年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況	R1年度	R2年度	R2年度（繰越）	R3年度	R3年度（繰越）	
		(a)当初予算額	293,224	206,940	0	84,087	0
	(b)予算現額	293,224	196,602	0	75,931	0	
	(c)増減額（b-a）	0	▲10,338	0	▲8,156	0	
	(d)繰越額	163,825	0	192,060	0	51,455	
	A.計（b+d）	457,049	196,602	192,060	75,931	51,455	
	B.執行済額	193,528	4,573	44,280	24,911	39,210	
	うち交付金充当額	153,551	3,658	35,424	19,929	31,368	
	次年度繰越額	99,696	192,060	0	51,455	0	
	執行率（％）（B/A）	42.3%	2.3%	23.1%	32.8%	76.2%	
予算の状況の説明	オランダ墓アクセス通路整備において、物件補償の交渉に不測の日数を要したことで、土木工事の発注が遅れたため、令和3年度に51,455千円の繰越金が生じた。						
活動目標（指標）及び達成状況	R3活動目標（指標）		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	オランダ墓アクセス通路整備の完了	目標	（物件補償）	（物件補償）	（完了）	（完了）	
		実績	未実施	完了	未完了	完了	
	塩づくり体験施設用地購入	目標	（用地購入）	（用地購入）	（用地購入）	（未実施）	
実績		未実施	完了	未実施	未実施		
達成状況説明	アクセス通路工事の入札が、2回も不調となり、不測の日数を要したことから、繰越して実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R3成果目標（指標）		基準値（R1年度）	R2年度	R3年度	R4年度	目標値（R4年度）
	オランダ墓アクセス通路整備の完了	目標	（ ）	（道路工事）	（道路工事）	（道路工事）	（ ）
		実績		未実施	未完了	完了	
	塩づくり体験施設用地購入	目標	（ ）	（1筆購入）	（8筆購入）	（8筆購入）	（ ）
		実績		完了	未実施	未実施	
【R4成果目標】 修学旅行受入数：100校	目標	（82校）	（100校）	（100校）	（100校）	（ ）	
	実績		0校	0校	29校		
進捗状況説明	令和2年以降は、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、修学旅行も中止となり、受入がありませんでしたが、令和4年度は、徐々に増え、目標値には及びませんが、29校、4,254人の修学旅行生が屋我地地域及びその周辺地域へ訪れました。						

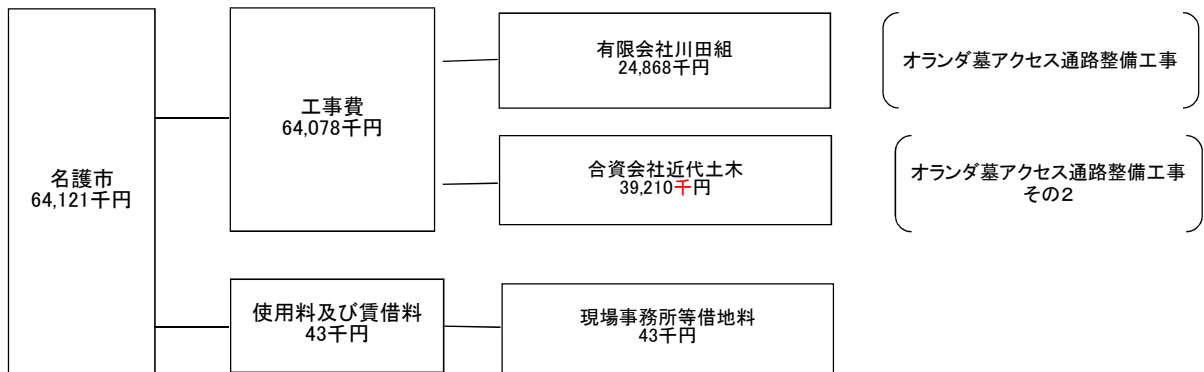
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響で、修学旅行を実施する学校が激減している状況である。	新型コロナウイルスの感染状況が収束傾向となっており、修学旅行を再開する学校が増えてきている。名護市観光協会とも連携し、修学旅行の誘致活動を行いたい。

**今後の取り組み方針**

名護市観光協会と連携しながら、修学旅行の誘致活動を実施していきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
84,087	64,121	51,296	12,825	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業内容に見合った適正な予算規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		名護市					
令和3年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	二見以北交流拠点施設機能強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)-ア		
担当部署名	地域経済部 久志支所	事業実施（予定）年度	令和元年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>「二見以北交流拠点施設(わんさか大浦パーク)」は2011年に供用を開始し、名護市二見以北の観光拠点施設として、親しまれてきた。また、今後は沖縄県北部やんばるの世界自然遺産登録に伴う当該地域の観光客増加が見込まれている。しかしながら、観光客増をはじめとする利用者増に伴い、利用者のニーズに対する既存施設の機能に不十分な部分が発生している。わんさか大浦パーク施設の機能強化を図ることにより、北部地域を訪れる観光客の受け入れ体制を強化し、満足度、観光地としての魅力向上につなげることで、沖縄県のリーディング産業となっている観光産業の振興に資する。</p>						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R6年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		R1年度	R2年度	R3年度	R3年度（繰越）		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額	A. 計 (b+d)	6,996	9,840	56,737	56,737	
		B. 執行済額	6,886	9,840	0	30,899	
		うち交付金充当額	5,508	7,872	0	24,718	
		次年度繰越額	0	0	56,737	56,737	
	執行率（％）(B/A)	98.4%	100.0%	0.0%	54.5%		
	予算の状況の説明	委託契約の入札残等により執行率が54.5%となっている。業務内容については、予定通り完了できた。					
	活動目標（指標）及び達成状況	R3活動目標（指標）		達成状況			
				R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		実施設計の実施	目標	( )	( )	( 実施設計完了 )	( )
実績					実施設計完了		
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	地元地域団体より整備計画の見直し要望が上がっている事が判明したため、事業を繰越して実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R3成果目標（指標）		基準値（30年度）	R2年度	R3年度	R4年度	
	実施設計の完了	目標	( )	( )	( 完了 )	( )	
		実績			完了		
	【R6成果目標】年間利用者数	目標	( 110,283人 )	( - )	( - )	( - )	
		実績		81,858	88,611	81,394	
	進捗状況説明	令和4年度より整備工事に着手しており、令和5年度事業にて完了予定となっている。					

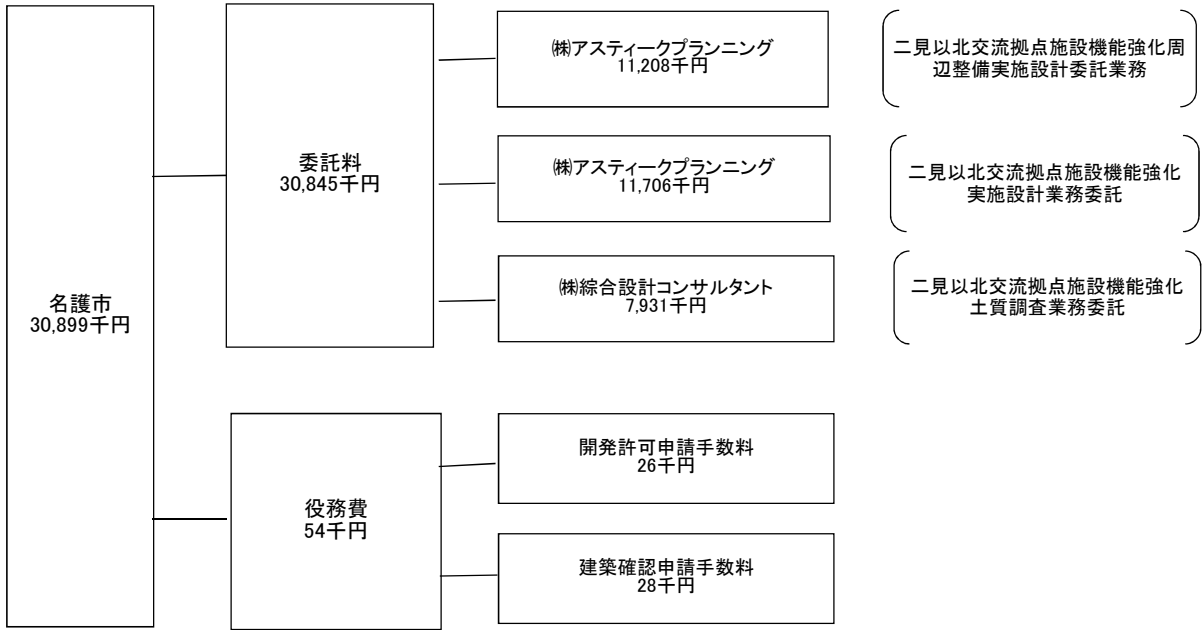
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地元地域団体から集客のための遊具の設置等の要望に対応したことで、地元も納得した施設計画が作成できた。	地元地域からの要望の変化に早く対応できておれば、事業期間を短縮することができた可能性がある。

**今後の取り組み方針**

設計に基づいた工事が着手されているので、令和6年の供用開始に向けて取り組む。また、供用開始に向けて、管理者と協力しながら、観光客の誘致に向けた取組について実施していきたい。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
30,899	30,899	24,718	6,181	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
資金の流 れ、費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○事業内容に見合った適正な予算規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		名護市					
令和3年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-③		環境再生・活用整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-1-(1)-ウ	
	担当部署名	建設部 建設土木課		事業実施（予定）年度	平成29年～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境の再生
事業内容		集中豪雨により浸水している箇所等の災害防止を図る。また、治水と自然を共存させた整備を行う事で環境の保全、再生を図り豊かな自然環境と共生するまちづくりを推進する。					Ⅲ-10-(1)
	効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度（R8年度）					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R3年度（繰越）
	予算の状況	(a) 当初予算額	10,000	36,102	28,000	70,000	0
		(b) 予算現額	16,060	36,102	26,496	42,670	0
		(c) 増減額 (b-a)	6,060	0	▲ 1,504	▲ 27,330	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	27,330
		A. 計 (b+d)	16,060	36,102	26,496	42,670	27,330
	B. 執行済額		16,060	36,057	26,496	42,670	22,414
	うち交付金充当額		12,848	28,844	21,197	34,136	17,932
	次年度繰越額		0	0	0	27,330	0
	執行率（%）(B/A)		100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	82.0%
予算の状況の説明		工事個所の土質が設計で想定されていた土質よりも軟弱であることが確認されたため、工法の検討が必要となり、工法検討に不測の日数を要したことから、予算の一部について執行できなかったため、工事費の執行が減額となった。					
活動目標（指標） 及び達成状況	R3活動目標（指標）		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	実施設計（河川）の実施	目標	（ 実施設計実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	実施				
	実施設計（橋梁）の実施	目標	（ ）	（ 実施設計実施 ）	（ ）	（ ）	
		実績		実施			
	喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁架替による用地測量業務の実施及び用地取得	目標	（ ）	（ 用地測量実施 用地取得 ）	（ 用地測量実施 用地取得 ）	（ 用地取得 ）	
		実績		実施・取得	実施・取得	用地未取得	
	喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁架替による物件補償調査業務の実施及び物件補償	目標	（ ）	（ 物件補償調査実施 物件補償実施 ）	（ 物件補償調査 物件補償 ）	（ 物件補償 ）	
		実績		実施	実施	実施	
喜知留川拡幅整備を目的とした河川整備工事（磁気探査含む）	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 河川整備工事、 磁気探査業務 ）		
	実績				実施		
達成状況説明		工期を延長した河川整備工事を完了した。平成30年度に実施設計が完了した既存橋梁架替に必要な用地及び補償について、地権者と交渉した。					
成果目標（指標） 及び進捗状況	R3成果目標（指標）		基準値（年度）	R1年度	R2年度	R3年度	目標値（8年度）
	実施設計（橋梁）の完了	目標	（ ）	（ 実施設計 ）	（ 用地測量・取得 ）	（ ）	（ ）
		実績		完了	完了		
	喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁架替による用地測量業務の実施及び用地取得	目標	（ ）	（ 用地測量・ 用地取得 ）	（ 用地測量・ 用地取得 ）	（ 用地取得 ）	（ ）
		実績		完了	完了	未完了	
	喜知留川拡幅整備に伴う既存橋梁架替による物件補償調査業務の実施及び物件補償	目標	（ ）	（ 物件補償 調査・補償 ）	（ 物件補償 調査・補償 ）	（ 物件補償 ）	（ ）
		実績		調査完了・ 補償未完了	完了	物件補償1件	
	喜知留川拡幅整備を目的とした河川整備工事（磁気探査含む）	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 河川整備工事 磁気探査業務 ）	（ ）
		実績				完了	
	【R8成果目標】 環境学習参加者数 116人		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ 116 ）
実績							
進捗状況説明		工期を延長した河川整備工事を完了した。既存橋梁架替に必要な用地及び補償について、地権者交渉が難航し不測の日数を要している。					

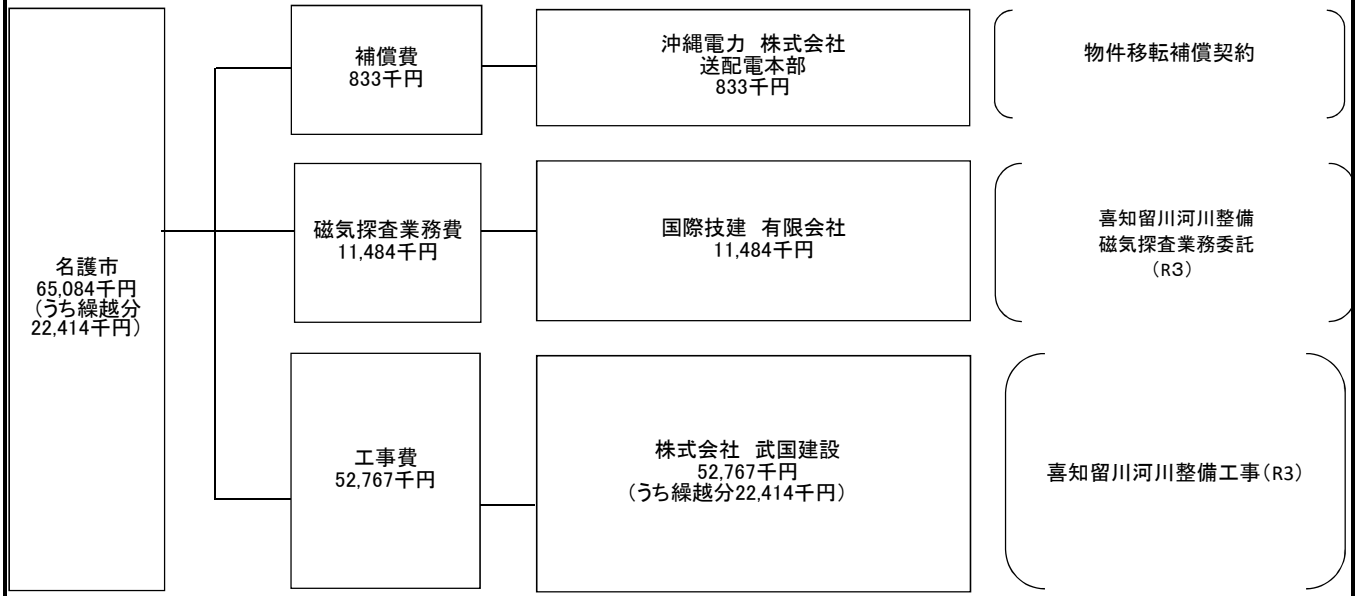
推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	補償対象者については、事業に反対ではないものの、補償内容に納得していない。 河川整備において近隣住民から、工事施工中の騒音、振動発生について懸念を示している。	補償対象者の理解と協力を得るために説明・交渉を継続する。 懸念されている工事施工中の騒音、振動については、抑制方法を検討し、地元区長と連携をとりながら理解が得られるよう説明を重ねたい。

**今後の取り組み方針**

河川整備と並行しながら、橋梁整備影響範囲内の早期の用地取得と物件補償を目指す。  
地元区にも整備の進捗状況を周知し、事業に関心を持って頂けるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
65,084	65,084	52,067	13,017	0



資金の流し、用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者とは指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業内容に見合った適正な予算規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○工事事業者とは指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。